

鈴木豊ゼミナール

先生のプロフィールはHP参照 <http://prof.mt.tama.hosei.ac.jp/~yutaka/>
今回で23期生をお迎えすることになります。



【テーマ】

ゲーム理論とその応用。企業と組織の経済学。契約理論。応用ミクロ経済学。

【テキスト】

マクミラン『経営戦略のゲーム理論』、ミルグロム・ロバーツ『組織の経済学』、梶井・松井『ミクロ経済学：戦略的アプローチ』、ラジアー『人事と組織の経済学』、岡田『ゲーム理論入門』、スティグリッツ『ミクロ経済学』等。

【ゼミ生の進路】

金融、メーカー、流通、運輸、IT、マスコミ(番組制作)、政治家、公務員、大学院(東大2、大阪、法政ほか)→経済学者(大学教員)3名など。「多様」です。

【ゼミ生による推薦・紹介文】

*HW(第15期ゼミ長：三菱東京UFJ銀行)

ゼミではゲーム理論を中心にミクロ経済学、契約と組織の経済学の知識を深めることができました。授業は文献講読が中心で、章ごとに担当のゼミ生がレジュメを作成し発表します。また学習範囲に合わせて実際の企業の例や時事問題を取り上げて解説して頂けます。授業に前向きな姿勢で取り組めば、きっと論理的思考力と積極性を高めることができますと思います。

*SH(第15期)(盛岡市役所、農水省(国Ⅱ)合格)

公務員試験を受験した立場から紹介しますと、鈴木ゼミでは経済学の基礎も学べ、公務員試験内容と重なる部分も多いです。私が考える一番の魅力は、先生が適宜、解説時に書く「図」です。教材にない先生独自の図は理解の大きな助けになるだけでなく、知的好奇心を刺激し、ゲーム理論を始めとした経済学の面白さを伝えてくれます。★昨年度は、総務省(国Ⅱ)1名。

*YH(第15期)地方銀行(常陽銀行)

授業では、たまにレベルが高くてわからないこともありますが、質問する時間もしっかり設けて下さるため、授業中に疑問は全て解決することが出来ます。また、ゼミ生同士の仲もとても良く、BBQや飲み会、ゼミ合宿等のイベントを通してどんどん親睦が深まっています。4年になる頃には、かけがえのない仲間となっていることでしょう！

*能瀬昂介(第18期ゼミ長)

大阪大学大学院修士⇒みずほ証券・投資銀行コース

鈴木ゼミでは、ゲーム理論に限らず、多くの知的好奇心を惹くトピックを学び、有益な議論が出来たことは貴重な体験でした。事実、ゼミで培った問題意識・興味関心は、進路選択にも大きな影響を及ぼすことになりました。鈴木先生は、日頃より熱心に相談に乗って下さり、有益なアドバイスを毎回頂けるので、大変感謝しています。

【アカデミズム=学界のゼミOB】

第1期 安藤至大さん(日本大学大学院 准教授)

第1期 中村匡克さん(高崎経済大学 教授)

第5期 大橋賢裕さん(東京理科大学 助教)



昨年の夏合宿@千葉県白子海岸